

高度なセキュリティを要する 「クローズド環境」に求められる ガイドラインを準拠するためのポイント

地方自治体などの公共団体や製造業、防衛産業、医療機関等、個人情報や重要度の高い機密情報を扱うクリティカルな業界では、情報セキュリティポリシーやサイバーセキュリティの指針となるガイドラインが用意されており、関係する組織、企業の方々はこれらのガイドラインを基に情報セキュリティの強化を行っていただくとされています。

各業界向けのガイドライン例

地方自治体	地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン
製造業	自工会/部工会・サイバーセキュリティガイドライン
防衛産業	装備品等及び役務の調達における情報セキュリティ基準
医療機関	医療情報システムの安全管理に関するガイドライン

ガイドラインは政府系機関や、業界団体などにより規定されています。

このようなクリティカルな業界の特徴として、インターネット接続を許可しない「クローズド環境」を利用する機会が多いことが挙げられます。クローズド環境は直接的にインターネット接続をしていないため第三者による侵入が難しく、サイバー攻撃を受けにくいというメリットがあります。しかし、クローズド環境であっても、「なりすまし」や「内部不正」というリスクは存在しており、対策となる「ログイン制御・監視」は必須と言えます。

クローズド環境におけるセキュリティ対策のポイント

クローズド環境においても適切なアクセス制御を行う必要があり、オープン環境に比べ、ゼロトラストな視点がより強く求められます。例として、多くのガイドラインに記載がされている、なりすまし対策、特権ID管理、ログイン監視・強制ログオフがあげられますが、それらについて解説します。

① なりすまし対策

アカウントが正規のユーザーが利用しているかの信頼性を高めるために多要素認証や同時ログイン制御が必要になります。

【多要素認証】

「知識」、「所持」、「存在」を利用する認証手段のうち二つ以上を併用する認証

【同時ログイン制御】

1つのアカウントで同時にログインできる数を制限する制御。システムへの不正なアクセスを防ぐ。

多要素認証や同時ログイン制御を用いることによりアカウントを正規ユーザーが利用している信頼性が高まり、有効ななりすまし対策になります。

② 特権ID管理

クローズド環境においてもオープン環境と同様に特権IDの管理はセキュリティ上大きな課題となります。特権IDに対して多要素認証を付加するのはもちろん、利用申請のあった特定の時間帯のみログイン許可をすと言った対策が必要になります。

③ ログイン監視・強制ログオフ

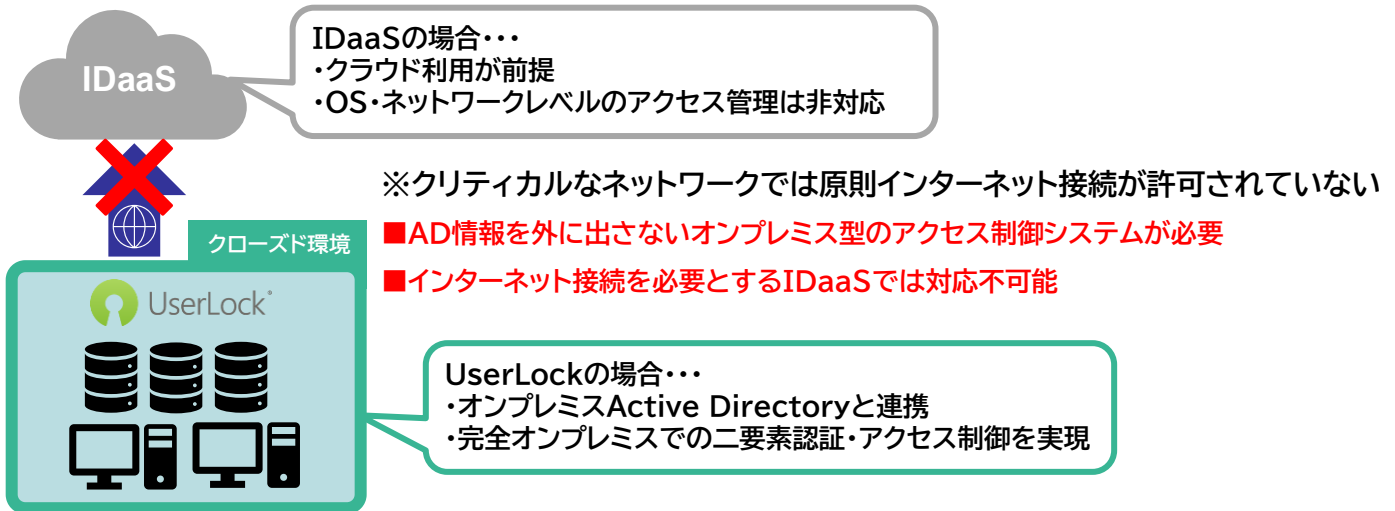
ネットワークへのログインを俯瞰的に監視し、不審な挙動のアカウント強制的にログアウトさせると言った対応も有効です。また、放置セッションはセッションハイジャックのリスクを高めるため自動的に強制ログオフを行うのが有効です。



UserLock® クローズド環境でも利用可能なログイン管理ソリューション

IDaaS(アクセス制御などの機能をクラウド経由で提供するサービス)をはじめとした多くのログイン管理ソリューションはクラウド経由となり、インターネット接続を行わないクローズド環境では利用できません。また、アプリケーションレベルのログイン管理だけで、OSやネットワークレベルでのアクセス管理はできないものがほとんどです。

UserLockはActive Directory認証と連携するため、クローズド環境でもご利用が可能です。二要素認証や同時ログイン制御による「なりすまし対策」や特権ID管理、ログイン監視・強制ログオフ等クローズド環境でも必要となる機能を簡単に実現できます。



UserLock導入の3つのメリット

① コストメリット

スタート価格が安価なID管理・ログイン管理サービスでも、オプションで高額になるケースも。UserLockはシンプルなライセンス体系で、低コストで様々なアクセス管理機能を提供します。

② オンプレミスで完結

UserLockは、IDaaSと違い、ユーザー情報を外部に出すことはありません。すべてオンプレミスで完結するため、IDaaSのような外部要因によるサービスの停止やIDaaS自体が不正アクセスの被害にあうというリスクを考慮する必要はありません。

③ 既存構成の変更は最小限

ID管理やそれに基づくアクセス管理を行うには通常、インフラの大規模改変やクラウド移行などを伴います。UserLockは既存構成に簡単に後付けできるため大きな構成変更は必要ありません。

UserLockは主にネットワークの内部を守るセキュリティ機能をもっており、外部からの脅威に対するセキュリティ(アンチウイルスソフト、EDR、資産管理ソフト等)と併せてご利用いただくことで、クローズド環境をより強固に守ることが可能です。

参考価格(年間サブスクリプション形式)

※その他レンジの価格や詳細については別途お問い合わせください。

10ライセンス	¥68,700
50ライセンス	¥316,000
100ライセンス	¥550,000



株式会社オーシャンブリッジ

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F

Web : <https://www.isdecisions.jp/>

Mail : userlock@oceanbridge.jp